

輪

広報誌

Kitakyushu
Municipal Medical Center
COMMUNICATION PAPER

vol.88 | January 2023

ご自由にお持ちください

2023年 北九州市立医療センターは
誕生150周年を迎えます

150
Since 1873
2023 ANNIVERSARY

がん特集

肺がんについて

TOPICS

ロボット支援手術(ダヴィンチ)

チーム紹介

呼吸ケアチームについて

新年のご挨拶

健康で輝ける年へと



RSTメンバーのみぞん



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立医療センター

新型コロナウイルスとインフルエンザ 同時流行したらどうなる？

感染対策の緩和の影響もあり、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行の時期となっています。しかし、どちらの感染症も臨床症状は発熱、咳、のどの痛みなどと共通する点が多く、症状からは区別ができません。新型コロナウイルスはオミクロン株が主流となり、潜伏期間も以前の流行株の約5日から約3日程度と短くなり、インフルエンザの約2日とほぼ変わらなくなっています。しかし、インフルエンザは症状がでたから広がるとされていますが、新型コロナウイルスは症状がでる2日前から広がるとされているため、新型コロナウイルス感染者はいつ感染したか分かりにくく気づかないうちに広がっている可能性があります。

インフルエンザと新型コロナウイルスを同時測定できるキットがありますが、あくまで自己確認目的であり、感度の問題で陰性であっても安心できない点に注意が必要です。治療などにつなげるためには保健所への連絡や病院への受診が必要となります(※参考)。

どちらの感染症もマスク・手指消毒が感染対策の基本になります。この流行の時期をなんとか乗り切ってくださいましょう。



感染症内科 主任部長

内田 勇二郎

うちだ ゆうじろう

新型コロナウイルス	インフルエンザ	重症化リスク	一般的な対応	保健所からの連絡
+	+	あり/届出あり	保健所・病院に相談	あり
+	-	あり/届出あり	保健所・病院に相談	あり
-	+	あり/なし	自宅待機 ※陽性者登録	なし
-	-	なし	病院受診	なし

重症化リスク 65歳以上の方、重症化が予測される基礎疾患があると判断された方、妊婦の方など(医療機関から保健所へ届出が必要)

標榜診療科一覧

内科	呼吸器内科	小児科	肝臓外科	脳神経外科	眼耳鼻咽喉科
肝臓内科	消化器内科	消化器外科	胆のう外科	呼吸器外科	放射線科
血液内科	循環器内科	消化器外科	脾臓外科	心臓血管外科	病理診断科
感染症内科	腫瘍内科	乳腺外科	食道外科	小児外科	救急科
心療内科	内分泌・糖尿病内科	内分泌外科	胃腸外科	皮膚科	救急科
精神科	緩和ケア内科	大腸外科	整形外科	泌尿器科	産科
		肛門外科	リハビリテーション科	産婦人科	

基本理念

わたしたちは
公共的使命を自覚し
心のかもった
最高最良の医療を提供します

基本方針

1. 患者さんの権利 個人情報保護し 患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに 患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし 安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識、技術を習得し あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し 地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます

編集後記

広報誌「輪」編集長

高島 健

あけましておめでとうございます。今年も「輪」をよろしく願っています。歳をとると月日が経つのが早く感じられます。あるテレビ番組でその理由を解説していました。子どもの頃は毎日が新鮮で新しい出会いや発見があるので時間が経つのが遅く、大人になると日々の生活に新鮮味がなくなるので、あっという間に時間が過ぎるそうです。心がときめくような出来事が沢山ある1年でありますように、心よりお祈りいたします。



Kitakyushu
Municipal Medical Center
COMMUNICATION PAPER

vol.88 | January 2023

発行日/2023年1月20日



地方独立行政法人 北九州市立病院機構
北九州市立医療センター

〒802-8561 北九州市小倉北区広畑二丁目1番1号
TEL 093-541-1831(代表) FAX 093-533-8693
外来予約センター 093-533-8660

[月～金 9:00～16:30] 紹介状または二次検診初診受付
ホームページ <https://www.kitakyu-cho.jp/center/>

ホームページ Facebook Instagram



※本誌では撮影用にマスクを外しています。

肺がん

厚生労働省の報告により、2021年のわが国での死亡数は悪性新生物が第一位で、部位別に見ると肺がんが最も多くなっています（7万6,212人）。当院にも肺がんが疑われ、精密検査、または肺がんと確定されて治療目的に受診される方が多くおられます。肺がんは肺の細胞の遺伝子に傷がつくことで発生します。原因として、最も多いのはタバコであり、喫煙により肺がんにかかるリスクが4、5倍増加します。症状は進行すると咳、痰（時に血痰）、胸痛、息切れ、発熱などがあげられますが、早期であれば無症状のことも多く、健康診断や他の病気でたまたまX線撮影やCT検査をして発見されることがあります。

肺がんの種類（組織型）について
肺がんは大きく分けて「非小細胞がん」と「小細胞がん」があり、非小細胞がんの中には腺がん、扁平上皮がん、大細胞がんがあります。組織型によって治療法が異なりますので、まずは診断をきちんとつけることが重要です。当院では積極的に気管支鏡検査を行い、診断の確定に努めています。気管支鏡での診断が難しい場合は、放射線科医師に依頼してエコーやCTを見ながら組織を採取したり、呼吸器外科手術で肺の組織を一部切除してもらって診断を行ったりしています。

肺がんの治療について

肺がんの治療は組織型や進行度によって手術、放射線、化学療法の違いが、ま

たはそれらを組み合わせて行われます。

一般的に早期であれば手術や放射線治療を行い、他の臓器に転移があり進行期であれば化学療法を行います。当科では化学療法を行います。肺がんの治療法は様々な治療や臨床試験を経て著しく進歩しており、毎年のようにガイドラインも改定されています。主な治療法として、従来からの「細胞障害性抗がん剤」に加え、がん細胞の特定の遺伝子を標的とした「分子標的薬」や、自分の免疫の働きを高めてがん細胞を攻撃する「免疫チェックポイント阻害薬」があります。これらの治療法をうまく使い分けるためには、がんの組織を十分に採取して、詳細に検査を行う必要があります。化学療法も多くの選択肢がありますので、患者さんの全身状



北九州市立医療センター
呼吸器内科 主任部長
原田 英治
はらだ えいじ

態や合併症などを把握し、画一的な治療ではなく、患者さん一人ひとりに対し最適な治療を提供することに努めております。また、肺がん患者さんは痛みや不安を訴えることも多いですので、これらの治療と並行して、必要時に応じて緩和ケア内科の医師や専門看護師等のチームの協力を得て、緩和医療も早めに行っています。

ねらい

当科では日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本臨床腫瘍学会の専門医・指導医が在籍しており、肺がんに対して的確な診断と治療を行っております。健康診断などで肺がんが疑われる場合や、肺がんの治療などについてお困りの際は、当院の医療連携室までご連絡ください。



PROFILE

原田 英治

2022年より当院呼吸器内科の主任部長として着任し、肺がんのほか、呼吸器感染症や気管支喘息、COPDなど呼吸器疾患全般の診療を行っています。北九州市内・近郊の病院クリニックと連携を取り合いながら、安全で質の高い医療を提供できるよう努めています。

【専門医等】 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医 など

【所属学会等】 日本内科学会
日本呼吸器学会
日本呼吸器内視鏡学会 など

2021年診療実績

入院患者総数	831名
1日平均入院患者数	37.2名
1日平均外来患者数	43.3名
平均在院日数	15.7日
肺がん化学療法延べ件数 (分子標的薬を除く)	1,840件

呼吸器領域での ロボット支援手術(ダヴィンチ)を 開始しました

当院では2019年9月に内視鏡支援ロボット「ダヴィンチX」を導入し、これまで泌尿器科・外科・産婦人科で多くのロボット支援手術を実施してきましたが、2022年11月より呼吸器外科もロボット支援下肺葉切除術(肺がん)を開始しました。

「ダヴィンチ」は、規定のトレーニングを受けて資格を取得した医師が、手術器具(電気メスなど)をドッキングしたロボットを操作して手術を行います。患者さんに負担の少ない低侵襲手術として、これまで当科では胸腔鏡手術に取り組んできました。その低侵襲性を保った上で、ダヴィンチでは、3Dハイビジョンシステムで映し出された高画質で鮮明な立体映像を見ながら、人の手首よりはるかに大きく曲がって回転する手術器具を使用し、手ぶれ防止機構などの口

ロボットの特徴を活かすことで、従来の手術方法よりさらに精緻な手術操作が正確に行えるようになりました。

呼吸器領域では現在、肺がん、転移性肺腫瘍(大腸がんなど)、および胸腺腫や神経原性腫瘍などの縦隔腫瘍に対するロボット支援手術が、一定の施設・術者基準を満たした施設でのみ保



険達成となっております。当科でも今後対象を順次拡大していく予定です。

ロボット支援手術により、手術が必要な患者さんに、安全かつ低侵襲な治療を提供できるようになりました。今後も技能の向上に努め、より安全で身体への負担の少ない手術を心がけていきますので、よろしくお願いたします。



呼吸器外科 統括部長

濱武 基陽

はまたけ もとはる

チーム紹介

呼吸ケアチーム RST Respiratory care Support Team

当院の呼吸ケアチームは2008年に発足し、呼吸管理や呼吸ケアの専門知識を有するスタッフが院内における呼吸ケアの普及と質の向上を図り、安全管理をサポートしているチームです。令和4年度から呼吸の変化は身体の内部環境の悪化を示唆し、呼吸のトラブルは生命の危機的状況を招くという観点から、院内迅速対応システム(RRS: Rapid Response System)の機能の一つとして活動を拡大しています(図一)。

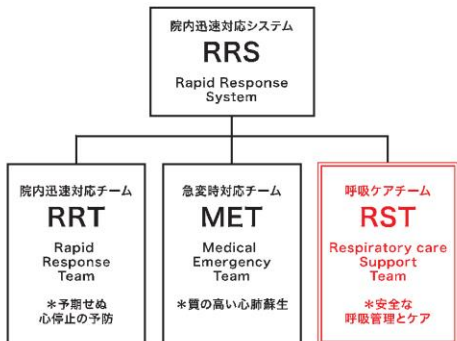
呼吸ケアチームは、呼吸器疾患を専門とする医師や特定認定看護師・認定看護師(日本看護協会)、3学会合同呼吸療法認定士(日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会)を取得した看護師・理学療法士・作業療法士・臨床工学技士などで構成されます(表紙写真)。そのスペシャリ

ストが、各部署で呼吸ケアや呼吸リハビリテーションをより普遍的に、より効果的に広めていく使命をもって活動をしています。

近年は、医療の進歩によって合併症の発症リスクの高い患者さんへの手術も行えるようになっていきます。手術後に呼吸器合併症が発症しないように、また合併症が生じても早期に回復できるように、入院直後からサポートしていきます。万が一、人工呼吸器が必要となった場合でも、人工呼吸器を安全に管理し、早期に外せるようにチーム一丸となってサポートします。

これからも、入院された患者さんが安心して安全な医療が受けられ、1日でも早く回復できるように、スペシャリストが全力で呼吸ケアをサポートしていきます。

当院におけるRRSの機能 図1



看護部
クリティカルケア担当係長

増居 洋介

ますい ようすけ



理事長
中西 洋一
なかにし よういち

うさぎ年ー「兎の登り坂」

明けましておめでとございませう。令和5年は、癸（みずのと）卯（うさぎ）の年。新しい年を新鮮な気分を迎えたいものです。古来、兎年は家内安全、飛躍、向上の年になるとされてきました。そういう日で12年毎の兎年に起こったことを振り返ると、テレビの地デジ移行、新通貨ユーロ誕生、世界人口50億人突破、ベトナム戦争終結、鉄腕アトム放映開始、明るいニュースがあふれています。今年の兎年には、コロナ禍が落ち着き、戦争が終わり、わたしたちの明るい未来について語り合うものなることを願うばかりです。

そのためには、なにより健康が一番。わたしたち北九州市立医療センターは、北九州市民の命の砦として市民の皆さまと共に歩んで参ります。「兎の登り坂」という言葉があります。ものごとがスライと順調に進ぶさまを表しています。今年が皆さまにとって活気に満ちた「兎の登り坂」となることをお祈り申し上げます。



院長
中野 徹
なかの とおる

開院150周年の節目の年

令和5年新年のご挨拶を申し上げます。北九州市立医療センターは、本年度地方独立行政法人化後5年目を迎えます。また、開院150周年の大きな節目の年でもあります。

本院の長い歴史の中で、近年は政策医療としての感染症医療と小児周産期医療で公立病院の役割を果たしています。現在は、40診療科を標準とするようになり、診療科も充実してまいりました。今後もがん診療連携拠点病院（高度型）として、ダウインチ手術対応疾患の増加やゲノム医療の推進などの高度がん診療で地域に貢献してまいります。Withコロナでの診療が通常の状態となりました。本年も診療制限を伴う院内感染を発生することなく、安心して患者さんをご紹介しますよう感染対策を徹底いたします。

如法化後、地域に必要なとされる医療体制と連携体制を整えてまいりました。今年度も地域医療機関の皆さまと市民の声に真摯に向き合い、誠実に診療を続けてまいります。時代を刻み、節目を迎える北九州市立医療センターをよろしくお願いたします。



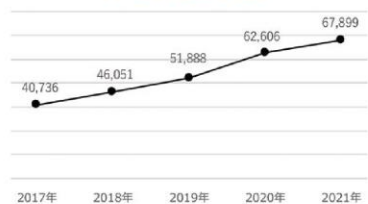
整形外科主任部長兼
リハビリテーション技術課長
城野 修 じょうの おさむ

コメディカル紹介 リハビリテーション技術課

リハビリテーション技術課はリハビリテーション兼任医師1名、理学療法士18名、作業療法士11名、言語聴覚士3名で入院患者を主に急性期から終末期までのリハビリテーションを提供しています。また、当院は第二種感染症指定医療機関であるため、入院されたコロナ患者に対して積極的にリハビリテーションを実施しています。サビレスを提供するうえで専門的知識の習得を図り、エビデンスに基づいたリハビリテーションの提供に心がけています。当院では全科に渡ってリハビリテーションを実施しており、年々患者数も増加傾向にあります。疾患別では「がん患者」「運動器（主に整形外科）分野」「呼吸器分野」の順に多く、がん患者は全体の38.4%、運動器分野は29.1%を占めており、各分野に専門的知識を有したスタッフが配置されています。また、栄養サポートチーム、認知症ケアチーム等のチーム医療への参加、各診療科、各病棟でのカンファレンス、退院支援カンファレンスにも参加し、多職種との連携や情報交換を図り患者支援を行っています。理学療法士、作業療法士は入院早期から介入し、合併症の予防とADL（日常生活動作）の早期自立を目指す、早期退院に繋がるように365日体制

でサービスを提供しています。言語聴覚士は、摂食嚥下障害のある患者さんに対して耳鼻咽喉科医師、歯科医師等とチーム体制をとり、嚥下リハビリテーションを実施し誤嚥性肺炎の予防を図っています。加えて外来リハビリテーションでは、補聴器装用を目標とした聴覚リハビリテーション、小児構音障害や吃音に対して言語リハビリテーションも行っています。わたしたちは、質の高いリハビリテーションサービスを提供し、患者さん、地域に貢献できるよう努力していく所存です。

リハビリ患者の推移 (延べ人数)



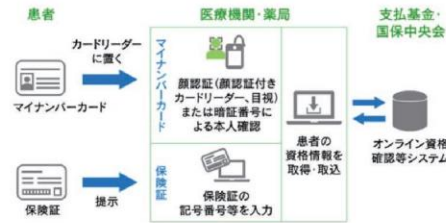


知って得する

病院のかかり方

マイナンバーカードの 健康保険証の利用について

●オンライン資格確認のイメージ



当院ではマイナンバーカードを利用したオンライン資格確認システムを導入しております。「オンライン資格確認システム」とは、医療機関・調剤薬局から専用回線を使用して、支払基金・国保中央会に受診される方の保険資格が有効かどうかを、リアルタイムで確認できる仕組みです。マイナンバーカードを健康保険証として利用する場合、事前に登録が必要です。

☑ 利用方法

「マイナンバーカード」を使用する場合

本館1階1番初診受付(初診患者さん用)または3番計算窓口(再診患者さん用)に設置してある専用カードリーダーでマイナンバーカードを読み込み、承認証や暗証番号で本人確認することで、有効な保険資格を確認できます。



専用
カードリーダー ▶

メリット

- 1 マイナンバーカードを保険証として利用できます。
- 2 予約患者さんの事前保険資格確認が可能になります。ただし、各種医療証(乳児医療・身体障害者医療・難病医療・特定疾患・精神医療・更生医療・その他医療証等)は原本のご提示が必要です。
- 3 医療費の限度額情報を確認できるため、特別な手続きなしで限度額以上の医療費の支払いが免除されます。(認証機での同意が必要)
- 4 本人の同意があれば薬剤や特定健診情報が閲覧でき健康管理や医療の質が向上します。(現在準備中です)

ご不明な点がございましたら、
医事係までお問い合わせください。

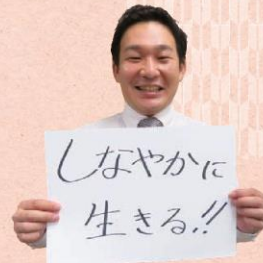


年

年男

女

今年
は卯年。
年男
年女の
皆さんに
今年
の抱負を
聞き
ました!



管理課 庶務係
永露 崇
ながつゆ たかし



放射線技術課 技師長
村上 典子
むらかみ のりこ



臨床工学課
荒木 一希
あらかぎ かずき



看護部 感染管理担当係長
谷岡 直子
たにおか なおこ



緩和ケア内科 主任部長
大場 秀夫
おおば ひでお



経営企画課
経営係(医師事務)
山田 愛奈
やまだ あいな



救急科 部長
鋼田 祐介
なべた ゆうすけ



医療連携室 社会福祉士
井上 望
いのうえ のぞみ



経営企画課 調達係長
成松 憲太郎
なりまつ けんたろう



看護部
酒井 胡桃
さかい くるみ

連携病院のご紹介

特定医療法人起生会 大原病院

行橋市宮町2番5号
TEL 0930-23-2345 FAX 0930-22-6206

- 診療科目 ●内科 ●呼吸器内科 ●消化器内科 ●循環器内科
●リハビリテーション科 ●放射線科

外来診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	—
13:30~17:30	●	●	●	●	●	●	—

当院は、心のごもった医療を提供出来るよう心がけております。一般内科として幅広く対応するだけでなく、健診などの予防医療や介護医療院、デイサービス、訪問看護など介護保険サービスの提供にも力を入れており、患者さんが住み慣れた地域で生活が続けられるよう支援を行っております。また高度急性期病院、診療所、高齢者施設との連携を密に地域医療を実践しております。行橋、京都地区のかかりつけ医として、地域の皆さまにご満足いただける医療を提供できるよう努力して参りたいと思っております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

地域の方、患者さんへのメッセージ

当院はJR行橋駅のすぐ近くにあり、東に平尾台、南に馬ヶ岳、西に養海海水浴場を臨み、交通の便と緑豊かな自然環境に恵まれています。1931年に開設され、以降時代と共に形を変えながら92年にわたり地域医療に携わって参りました。2018年5月、新病院が完成いたしました。病床数は136床で、診療内容は内科全般、回復期リハビリテーション、ちよとした怪我や骨折、褥瘡、認知症の相談などいわゆるプライマリーケアを実践しています。これからも幅広く基本的な疾患に対応し、全人的な医療を提供し続けるよう努力して参りたいと思っております。



院長 進 浩和 先生
しん ひろかず

当院について

「緩和ケア研修会」を開催しました

2022年11月12日(土)に第15回緩和ケア研修会を開催しました。本研修会は、緩和ケアの知識、技術、態度を習得し、診断時からの適切な緩和ケアの提供を目的としています。今回は、医師を中心に、薬剤師、看護師、社会福祉士など24名が参加し、多職種による積極的な意見交換が行われました。

受講者の皆さまからは、「患者さんの疑似体験から患者さんの気持ちを理解でき、医療者としての声かけの大切さを学ぶ機会となった。」「家族の語りでは、生への希望を持ち続けたい、その気持ちに寄り添って欲しいという思いが強く伝わった。」などのコメントをいただきました。少しでも実践に繋がると幸いです。今後も研修プログラムの内容や運営の充実に努めてまいります。



登録医のご紹介

ぐしま胃腸内科クリニック

北九州市小倉北区原町1-14-20 TEL 093-561-3956

診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
●内科	8:30~12:30	●	●	●	●	●	●	—
●胃腸内科	14:00~17:30	●	●	—	●	●	—	—



院長 具嶋 正樹 先生
ぐしま まさき

当院について

新たに内視鏡診療を行うにあたって、小倉北区原町の現在地で1951年から続く「具嶋医院」を2020年に建て替え、「ぐしま胃腸内科クリニック」に名称変更し、新体制で診療を行っています。



地域の方、患者さんへのメッセージ

腹痛や便秘、下痢などの胃腸症状を中心に内科全般を広く診療していますが、何科に行けばいいかわからない場合も、まずはご相談ください。患者さんやご家族に思いやりをもって接し、地域の皆さまに信頼されるクリニックを目指してまいります。

おおてまち耳鼻咽喉科

北九州市小倉北区大手町12-4 スピナガーデン大手町2階
TEL 093-562-1133

診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
●耳鼻咽喉科	8:30~12:00	●	●	●	—	●	●	—
	14:30~18:00	●	●	●	—	●	—	—

院長 五島 透 先生
ごしま とおる



マスコットキャラクター

当院について

スピナガーデン大手町にあります「おおてまち耳鼻咽喉科」です。耳、鼻、のどの病気はもちろん、風邪やめまいなど様々な病気の診療を行っております。地域の方が健康に過ごしていただけるよう、職員一同努力して参りますので、当院をどうぞよろしくお願ひいたします。



地域の方、患者さんへのメッセージ

耳鼻咽喉科で治療する部位は外から見えずらく、ご本人も状態が分からないことが少なくありません。そのため当院では、内視鏡を使用して患部をモニターに映したり、疾患説明のパンフレットを使用して「分かりやすい診療」を心がけております。気になることがありましたらお気軽にご相談ください。

北九州市立病院機構YouTubeチャンネルへのチャンネル登録をお願いします

北九州市立病院機構では、市立医療センター、市立八幡病院、市立看護専門学校の情報をYouTubeにて動画配信をしています。当院では、「病院紹介動画」や「外来予約センターについて」などの動画をアップしています。また、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市民公開講座を中止

していましたが、令和4年度よりYouTubeにて市民公開講座を再開しました。第1弾として「高額療養費制度について」の動画をアップしていますので、ぜひ視聴ください。今後も身近な情報や医療情報などを順次アップする予定です。ぜひチャンネル登録とグッドボタンをお願いします。

公式チャンネルはこちら

